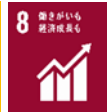


令和8年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

NO.	企業等名	取組概要	関連ゴール
1	アドマイヤー株式会社	・葬儀の施行において、エアコンや家電の使用を必要最小限に抑えるとともに、LED照明の使用を推進し、エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。また、DX化を進めることでコピー用紙の使用量削減にも努めています。 ・年配の方々が仕事を通じて生きがいや社会参加を実感できる環境づくりに取り組んでいます。 ・社員が働きやすい環境整備のため、年間休日の増加やテレワークの導入を進めています。また、小田原市内の方の採用も検討しています。 ・小田原市での墓じまいに伴い発生する産業廃棄物について、適切な管理・処理を行い、環境負荷の低減に配慮しています。 ・海洋散骨においては、火葬後の遺骨に含まれる有害物質の確認を行い、海洋環境への配慮に努めています。 ・小田原市内で散骨を実施した際には、周辺地域での清掃活動を行っています。	   
2	COME ALIVE	事務所名である COME ALIVE は「イキイキとした」という意味です。わたしたちは「誰もがイキイキとした働き方ができる社会」を目指して活動しております。事業は2部門あり、1つはオフィスセノグラフィ事業、もう1つがキャディ業務の請負です。 オフィスセノグラフィ事業は、会社の文化や思想をビジュアル化したアートと、「帰りたくなるオフィス」にするためのグリーン装飾を施すことで、インナーブランディングと組織開発に役立つものです。まさに、会社の中でイキイキと働ける人を増やすためのサービスです。アートに関しては、企業活動で生じた廃材・端材・不用品を素材として用いたアップサイクルアートでもあり、循環型社会に貢献していると自負しております。 またキャディ業務に関しては、ゴルフ好きな人が活躍でき、かつ、しっかりと稼げるものになっており、スタッフはみな、イキイキと働いております。	  

令和8年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

3	有限会社 近藤車体	・創業 60 年以上にわたり、小田原市内で車両の整備・修理・車検・コーティングを提供し続けています。車を長く大切に使えるよう支援することで、廃車による廃棄物削減と資源の有効活用を実践しています。 ・抗ウイルス・抗菌効果を持つナノゾーンコートを、個人車両・飲食店・自社レンタカー車両に施工しています。地域の生活環境・衛生水準の向上に貢献するとともに、救急車や公用車など公共車両への展開も目指しています。 ・ニコニコレンタカーの運営を通じて、地域の移動手段を支えています。 ・地産地消の取組として、湘南ゴールドエナジーなどの地域産品を店頭自販機で販売し、地域経済の循環に貢献しています。またマルシェへの出店や地元企業・団体との連携を通じて、持続可能な地域づくりのネットワーク形成に取り組んでいます。	  
4	株式会社東華軒	当社は、小田原駅弁を製造する企業としての「つくる責任」を重く受け止め、持続可能な社会の実現に向けた環境負荷低減に注力しています。 2026 年 3 月より、弁当製造時に日々発生する約 300kg の生ごみの資源化を開始しました。複雑な分別ルールを全従業員に徹底し、社内の環境意識を底上げしながら全社一丸で取り組んでいます。回収された生ごみは専門業者を通じて堆肥化され、花の土として活用される等、陸の豊かさを守る資源として循環しています。 さらに、使用済み揚げ油の再利用化も推進しています。適正な回収により水質汚染を防ぎ海の豊かさを守るだけでなく、次世代の航空燃料(BDF)等へリサイクルすることで、気候変動への具体的な対策にも貢献しています。 これからも「食」を通じた廃棄物削減と資源循環へのアクションを継続し、小田原の豊かな自然環境の保全と、住み続けられるまちづくりに寄与してまいります。	    
5	日本ボーイスカウト小田原第 12 団	・毎年 12 月にユニセフへの募金活動を小田原駅で実施し、世界の子供たちの困窮対策に助力しています。 ・スカウトは男女を問わず、同じ活動を協力して行っています。 ・キャンプを実施した際は、自然と共有し、自然を傷めないように実施しています。 ・毎年 9 月には、街中の清掃と通学路のカーブミラー清掃を実施し、清潔で安全な小田原市づくりを実践しています。	   